

### 新教育長に辞令交付

## 渡部早苗教育長が就任

昨年12月1日から空席となっていた教育長について、4月1日付で前明和小学校長の渡部早苗氏（小川）が就任しました。渡部教育長は、町議会の同意を得て、町長から任命を受けて決定したもので、平成27年4月1日に施行された新教育委員会制度での最初の教育長となります。

4月2日、教育長の辞令交付式では、菅家町長から辞令書が手渡され、着任式では渡部教育長が「町の将来を担う子どもたちと生涯学習の推進のために取り組んでいきます」と就任の挨拶をしました。新教育長の任期は3年となります。



▲職員の前で就任の挨拶をする渡部教育長

### 県選挙管理委員会より

## 只見町選挙管理委員会へ表彰状

3月1日、福島県選挙管理委員会から只見町選挙管理委員会への表彰状伝達式が行われ、只見町選挙管理委員長の渡部英弥さんが出席しました。

これは、昨年10月の「第48回衆議院議員総選挙」において、只見町の投票率が82・27%と県平均56・69%を大きく上回り、県内で檜枝岐村に次いで2番目に高かったことや、啓発看板設置など町独自の取り組みが評価され、今回表彰されたものです。

伝達式では、菅家町長が同席する中、大谷英明南会津地方振興局長から渡部委員長へ表彰状が手渡されました。



▲大谷局長(右)から表彰状を受け取った渡部委員長(中)と同席した菅家町長(左)

### 只見町野生動植物保護監視員

## 平成29年度「活動報告会」を実施

3月4日、只見町野生動植物保護監視員の「活動報告会」が只見振興センターで行われ、保護監視員14名が出席しました。保護監視員は「只見町の野生動植物を保護する条例」に基づき、町内の野生動植物を保護・保全するために巡視や指導などを行うもので、平成29年度からスタートしました。

報告会では、保護監視員の活動報告や次年度へ向けた活動の意見交換などが行われ、引き続き町の貴重な野生動植物を町全体で保護・保全する機運を醸成するために活動していくことなどが確認されました。



▲貴重な野生動植物を町全体で保護・保全することを確認した報告会

### 復興から防災へ

## つながるプロジェクト

3月11日、NPO法人ただみコミュニティクラブが主催する「つながるプロジェクト」が亀岡スポーツパークで行われ、東日本大震災の犠牲者を追悼しました。この活動は、これまで被災地復興支援として6回開催されましたが、東日本大震災から7年が経過した今回からは、「被災地から学ぶ地域の防災」として新たな取り組みで開催されました。会場では、かまくら内に追悼の意を表したキャンドルが設置されたほか、当クラブが町の防災マップを活用し、新潟福島豪雨からの教訓や防災の意識を高めました。



▲かまくら内で被災地の復興と追悼を表したキャンドル

黒谷在住の菅家吉次さん

満百歳で知事賀寿を贈呈

黒谷在住の菅家吉次さんが3月14日に満百歳の誕生日を迎えられ、ご家族同席のもと知事賀寿贈呈式が同日、自宅で行われました。贈呈式では、県から知事賀寿状と記念品、町からはお祝い金などが贈られ、長男の達朗さんが「父が百歳を迎えられたのも地域や医療・福祉など関係者の皆さまのおかげです」と謝辞を述べられました。

吉次さんは子ども3人、孫8人、ひ孫6人に恵まれ、趣味の俳句では、当広報紙に毎月投句されています。長生きの秘訣は、体全体で呼吸し声を張り上げる独自の呼吸法だと話されました。



▲花束を手にする吉次さんとご家族の皆さん

郷土料理を学び次世代へ伝える

人材育成第8期生「閉講式」開催

3月20日、人材育成第8期生の閉講式が只見振興センターで開かれ、関係者約30名が出席しました。8期生12名は、「只見の郷土料理を学び、次の世代へ伝える人材の育成」をテーマに、郷土料理の文化やアレンジ料理などを2年間学びました。

当日は、これまでの成果として、黒豆ごはんやニシンの山椒漬、ヒザなど10品のアレンジ料理が披露されました。また、閉講式では菅家町長から受講生に修了証が手渡され、受講生からは「伝統料理と自分たちの味を伝えていきたい」などの目標が伝えられました。



▲講師の平出美穂子さんと山際博美さんを囲む受講生と関係者の皆さん

心の病気について理解を深める

「こころといのちを守る講演会」

3月16日、「こころといのちを守る講演会」が季の郷湯ら里で開かれ、民生児童委員など約20名が参加しました。

講師に県立会津医療センター臨床心理士の加藤善和氏を迎え、「誰も自殺へ追い込まれない生きやすい地域づくり」地域つながりが命を守る」をテーマに講演されました。

講演では、自殺を考える人の心理状況やその対応などについて説明され、自殺を防ぐためには身近にいる人が同意する形で話をしっかりと聞き、地域全体が寄り添い見守る環境づくりが大切と話されました。



▲心の病気について説明する加藤臨床心理士

平成30年度に向けた相談会

町内各地で「農政座談会」開催

3月19〜25日までの期間、平成30年度に向けた農政に関する相談会「農政座談会」が町内各地で開催され、多くの農業関係者や町民が参加しました。

これは、農地の保全や国の生産調整などの動き、町の支援事業などを説明し地域住民と意見交換する座談会で、JAと町が連携して町内全13箇所で開催しました。

蒲生集会所で開かれた説明会では7名の地域住民が参加し、米の放射性物質検査の動向や農業後継者の育成支援、米の食味向上研究による只見米のブランド化や流通などについて活発な意見交換が行われました。



▲3月22日、活発な意見交換が行われた蒲生集会所の農政座談会